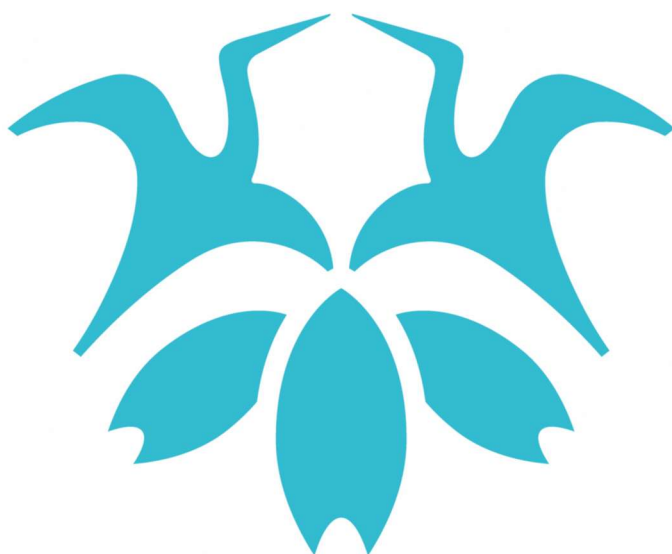


令和 8 年度

入学者募集要項



全日制の課程	P. 1 ~ P. 11
定時制の課程	P. 12 ~ P. 20

山形県立米沢鶴城高等学校

〒992-0117 米沢市大字川井300番地
TEL(0238)28-7050(代)
FAX(0238)28-7051

全日制の課程

入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

工業科

- 志望する動機及び目的意識が明確で、ものづくりや創意工夫することに興味・関心がある生徒を募集します。
- 工業技術を活用し社会の課題解決に取り組み、地域との関わりを持って将来の産業を担いたい生徒を募集します。
- 体育・文化活動や生徒会活動に積極的に取り組もうとする生徒を募集します。

商業科

- 志望する動機及び目的意識が明確で、ビジネスに関する学習に興味・関心がある生徒を募集します。
- 自らの個性や能力を伸ばして社会の課題解決に取り組み、地域との関わりを持って将来の産業を担いたい生徒を募集します。
- 体育・文化活動や生徒会活動に積極的に取り組もうとする生徒を募集します。

I 前期（特色）選抜

1 志願資格及び出願要件

（1）志願資格

次の各号に該当するものとする。

- ① 令和8年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校（以下「中学校」という。）を卒業する見込みの者のうち、次に定める出願要件を満たしている者。
- ② 合格した場合は、入学が確約できる者。

（2）出願要件

本校のアドミッション・ポリシーを理解し、次の（1）の要件に該当する者

（1）成績評定に係る要件

評定合計が23以上の者

2 募集類（学科）及び募集人員

機 械 類（機械加工科・機械制御科）	40名以内
電気情報類（電気情報科）	20名以内
建設環境類（建築科・環境工学科）	40名以内
商 業 類（総合ビジネス科・会計情報科）	40名以内

合計140名以内

3 出願手続及び受付期間

（1）出願手続

- ① 志願は1人1類のみとする。なお、志願資格及び出願要件に合致していない場合は出願できない。
- ② 中高一貫教育における連携型入学者選抜との併願はできない。
- ③ 山形県公立学校Web出願システムにより出願情報の登録を行い、「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、2,200円を納付する。（納付方法はクレジット、又はコンビニ/ATMにて選択して納付する。）

- ④ 中学校長は、山形県公立学校Web出願システムにより、調査書情報を登録するとともに、評定概況を添付ファイルとして提出する。ただし、評定概況については、県外からの志願者及び特別支援学校からの志願者については登録を要しない。
- ⑤ 個別に必要な書類
自己申告書（別記様式第4号……用紙は高等学校で用意する。）
進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合には、志願者等が作成した自己申告書を本校校長あて親展で提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、志願受付期間内に必着とする。
- ⑥ 県外から志願する者は、当該都道府県の公立高等学校を志願しない旨の在籍中学校長の証明書を添え、令和7年12月10日（木）を目途に学区外高等学校志願許可願1部を本県教育委員会教育長に提出し、許可を得るものとする。
- ⑦ 中学校長は、必要がある場合は、令和7年12月26日（金）17時までに本校校長に、健康及び身体状況について相談を行うことが望ましい。なお、聴覚障がいにより補聴器を必要とする場合も相談することが望ましい。
- (2) 志願受付期間
令和8年1月5日（月）から1月8日（木）12時までに手続きするものとする。
志願者は各自で受検票を印刷し持参すること。受検票は1月14日（水）以降に印刷できるようになる。

4 山形県公立学校Web出願システム入力上の注意

- (1) 志望する「類」を選択し、必ず出願要件にチェックを入れること。
(2) 現住所・氏名は、正確に入力すること。

5 検 査

- (1) 日 時 令和8年1月20日（火）
生徒昇降口開場 8時20分
受 付 8時30分から8時50分まで
※ 受検者数により受付時間が異なる場合がある。
- (2) 検査会場 米沢鶴城高等学校指定教室
- (3) 検査内容 個人面接 9時00分から
① 時 間 12分程度
② 面接者 2～3名
- (4) 受検者の携帯品
受検者は、受検票、内履きを持参すること。この他、必要に応じて昼食、腕時計※を持参してもよい。
また、連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。
※ スマートウォッチや通信機能等付きのものは持ち込みを認めない。

6 選 抜

選抜は、調査書情報、検査の結果を総合して行う。その割合は、調査書情報（学習の記録）【30%】、調査書情報（「学習の記録」以外）【30%】、個人面接【40%】とする。

なお、自己申告書等に関する書類を、個人面接で志望動機等を確認する際の資料とする。

また、個人面接の評価の観点及び評価の段階は以下の通りとする。

- 個人面接の評価の観点
- ① 目的意識：志望の動機・目的意識が明確である
 - ② 積極性：本校における学習や特別活動等に積極的に取り組む意志を有している
 - ③ 興味関心：本校の特色を理解し、興味関心がある
 - ④ 表現力：適切な態度で、質問の意図を理解し、わかりやすく話をすることができる
 - ⑤ 活動状況：各種活動において、積極的に取り組んできている
- 個人面接の評価の段階 A、B、C、D、Eの5段階

7 選抜結果の通知及び合格発表

- (1) 令和8年1月29日(木)16時に山形県公立学校Web出願システムにより前期(特色)選抜結果を通知するものとする。ただし、合格者の発表は、令和8年3月17日(火)16時に山形県公立学校Web出願システムにより行う。なお、電話による可否の問い合わせには応じない。
- (2) 合格者には、山形県公立学校Web出願システムに入力された本人の現住所等に入学に必要な関係書類を送付する。

8 その他

合格者に対しては、新入生オリエンテーションを実施する。入学予定者は必ず出席すること。
なお、期日等については7頁のⅢを参照のこと。

Ⅱ 後期(一般)選抜

1 志 願 資 格

次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 令和8年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程(以下「中学校」という。)を修了(以下「卒業」という。)する見込みの者で令和8年度前期(特色)選抜及び中高一貫教育における連携型入学者選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第95条の各号のいずれかに該当する者。

2 募集類(学科)及び募集人員〔前期(特色)選抜の合格内定者を含む〕

機 械 類 (機械加工科・機械制御科)	80名
電気情報類 (電気情報科)	40名
建設環境類 (建築科・環境工学科)	80名
商 業 類 (総合ビジネス科・会計情報科)	80名

合計280名

3 出願手続及び受付期間

(1) 出願手続

- ① 本校への志願は、「類」を単位として第3志望まで認める。全日制・定時制の両課程に志願することはできない。
- ② 山形県公立学校Web出願システムにより出願情報の登録を行い、「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、2,200円を納付する。(納付方法はクレジット、又はコンビニ/ATMにて選択して納付する。)
- ③ 前期(特色)選抜に漏れた者で、全日制の後期(一般)選抜を志願する者は、新たに山形県公立学校Web出願システムにより志願者情報の登録を行う。
入学者選抜手数料については、県立高等学校全日制の課程の前期(特色)選抜に漏れた者は納付を要しない。ただし、定時制の課程から全日制の課程への志願変更にあつては、入学者選抜手数料の差額分1,250円を納付する。また、市立高等学校の前期(特色)選抜に漏れた者は改めて2,200円を納付する。
- ④ 県外から志願する者は、当該都道府県の公立高等学校に志願しない旨の在籍中学校長の証明書を添え、令和8年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願1部を本県教育委員会教育長に提出し許可を得るものとする。
- ⑤ 次の場合、中学校長及び特別支援学校長は、令和8年1月30日(金)17時までに本校校長に相談を行うことが望ましい。ただし、帰国子女や外国人子女等、事情がある場合は、本人及び保護者が行うことも可能とする。
 - ア 入学者選抜にあたって特別な配慮等、必要がある場合(健康及び身体の状況、希望類(学科)、進路希望等)
 - イ 聴覚障がいにより学力検査時に補聴器を必要とする場合

- ⑥ 中学校長は、山形県公立学校Web出願システム上により、調査書情報を登録するとともに、評定概況を添付ファイルで提出する。ただし、評定概況については、県外からの志願者、特別支援学校からの志願者及び令和6年度以前の卒業生からの志願者については登録を要しない。
- ⑦ 個別に必要な書類
 ア 自己申告書（別記様式第4号……用紙は高等学校で用意する。）
 進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合には、志願者等が作成した自己申告書を本校校長あて親展で提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、志願受付期間内に必着とする。
 イ 在籍高等学校長の志願承諾書（在籍高等学校の任意様式）
 高等学校に在籍のまま志願する場合は、出願の際に山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。
- ⑧ 志願者に聴覚障がい者がいる場合、中学校長は、「聴力レベル（dB）」及び学力検査において配慮を必要とする事項を記した公文書を作成し、出願の際に山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。
- ⑨ 志願の取消しや締切り前の志願変更の対象者が確認された場合は、出身中学校長が本校校長へ電話連絡する。その後、山形県公立学校Web出願システムにおいて必ず公文書を添付ファイルとして提出するとともに、取消しや志願先の変更を行うこと。締切り前の志願変更は、やむを得ない十分な理由がある場合にのみ行うこと。
- ⑩ 国立諸学校に合格した志願者の在籍又は出身中学校長は、令和8年3月4日（水）12時までに、国立諸学校への入学の諾否等を本校校長に対して、山形県公立学校Web出願システムにより報告するものとする。その後判明した場合も、入学の諾否を在籍又は出身中学校長が、本校校長に対して、できるだけ速やかに電話連絡すること。

（2）志願受付期間

令和8年2月18日（水）から2月24日（火）12時までに手続きするものとする。

志願者は各自で受検票を印刷し持参すること。受検票は2月27日（金）以降に印刷できるようになる。

4 山形県公立学校Web出願システム入力上の注意

- （1）入力する際は、志望欄の第1志望から第3志望まで選択することができる。また、第2志望、第3志望を志願しない場合は「選択しない」を選択すること。
- （2）現住所・氏名は、正確に入力すること。

5 学 力 検 査

- （1）日 時 令和8年3月7日（土）
 生徒昇降口開場 7時40分
 控室入室完了 8時10分
 受 付 8時10分から8時20分

（2）検査会場 米沢鶴城高等学校指定教室

（3）検査教科及び検査時間

時 間	8:50～9:40	10:00～10:50	11:10～12:00	12:50～13:40	14:00～14:50
教 科	国 語	数 学	社 会	理 科	外国語（英語） （14:00 から約 10 分間は リスニングテスト）

※検査教科の配点は各 100 点とする。

（4）受検者の携帯品

受検者は、受検票、内履き、昼食及び学力検査に必要な下記の筆記用具を持参すること。

鉛筆（シャープペンシルを含む）※₁、消しゴム、定規（三角・直定規のいずれでもよい）、コンパス、鉛筆削り

学力検査会場には、受検票のほか上記の筆記用具を携帯する。なお、鉛筆キャップ（単色透明で無地のもの）、腕時計※₂、ティッシュペーパー（中身のみ）の持込みは認める。

連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。

※1 芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。

※2 スマートウォッチや計算機能、英単語表示機能、通信機能等付きのもの、音の鳴るもの、秒針音のするものは持込みを認めない。

ただし、次の用具は学力検査会場に携帯してはならない。

- ① 下敷、筆入れ、シャープペンシル芯入れケース等
- ② 公式や法則等の書いてある定規・鉛筆等（シャープペンシルを含む）
- ③ 分度器又は分度器のついた定規
- ④ 電卓等の計算用具
- ⑤ 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・情報端末等の電子機器類
- ⑥ その他、検査の公正を欠くおそれのある物

なお、聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

6 選 抜

- (1) 選抜は、調査書情報及び学力検査の成績を総合し、各類型（学科）の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。
- (2) 調査書情報中の各教科の評定と学力検査の成績の比率は4：6とする。
- (3) 傾斜配点は、行わない。
- (4) 在籍又は出身中学校長から、国立諸学校に合格し入学する旨報告のあった志願者については選抜から除外する。

7 合 格 発 表

- (1) 合格者の発表は、令和8年3月17日（火）16時に山形県公立学校Web出願システムにより行う。なお、電話による可否の問い合わせには応じない。
- (2) 合格者には、山形県公立学校Web出願システムに入力された本人の現住所等に入学に必要な関係書類を送付する。

8 個人情報提供

受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、山形県公立学校Web出願システムにより行う。

9 追 検 査

- (1) 対象者
志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日実施の学力検査（以降、本検査という）の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。
 - ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
 - ② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。
- (2) 受検の手続
追検査の受検を希望する者は、次のア～イの連絡等を行う。
 - ア 本検査を受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。
 - イ 上記（1）①の場合、医師の診断書を、上記（1）②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日まで在籍又は出身中学校長に提出する。
- (3) 追検査の内容及び日時等
 - ① 学力検査等について
内容は上記「5 学力検査」に準ずる。
 - ② 日 時
令和8年3月12日（木）学力検査（時間は本検査に同じ）

③ 検査会場

米沢鶴城高等学校指定教室

(「5 学力検査」と同様に指定された入口から入校し、職員の誘導により会場まで移動する。)

(4) 追検査の選抜における取扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

10 その他

(1) 受検会場の下見は実施しない。

(2) 合格者に対しては、新入生オリエンテーションを実施する。入学予定者は必ず出席すること。

なお、期日等については7頁のⅢを参照のこと。

Ⅲ 新入生オリエンテーション

- (1) 日 時 令和8年3月25日(水) 9時から12時(予定)
(2) 場 所 米沢鶴城高等学校体育館等
(3) そ の 他 合格発表後に郵送する関係書類により、日時や持ち物等詳細を連絡する。

資料 入学時及び入学後の所要経費

1 入学時の所要経費(類によって異なるが、おおよそ次のとおり)

以下の金額は令和7年度入学生の実績です。(消費税込みの金額)

(1) 制服価格一覧《基本パターン5タイプ》

① 詰襟学生服タイプ	(詰襟学生服+スラックス(無地)+長袖シャツ)	¥44,550(税込)
② 男子ブレザータイプ	(男子ブレザー+スラックス(柄)+長袖シャツ+ネクタイ)	¥45,452(税込)
③ 女子ブレザータイプ	(女子ブレザー+スカート(柄)+長袖ブラウス+リボン)	¥48,422(税込)
④ セーラータイプ	(イートンジャケット+スカート(無地)+長袖セーラー服+リボン)	¥53,152(税込)
⑤ イートンタイプ	(イートンジャケット+スカート(無地)+長袖ブラウス+リボン)	¥47,352(税込)

《夏物》

① 詰襟学生服タイプ	(夏スラックス(無地)+半袖シャツ)	¥16,060(税込)
② 男子ブレザータイプ	(夏スラックス(柄)+半袖シャツ)	¥16,610(税込)
③ 女子ブレザータイプ	(夏スカート(柄)+半袖ブラウス)	¥19,910(税込)
④ セーラータイプ	(夏スカート(無地)+半袖セーラー服)	¥24,310(税込)
⑤ イートンタイプ	(夏スカート(無地)+半袖ブラウス)	¥18,810(税込)

○ 女子用スラックス 12,650円

○ カーディガン(5,500円)、ポロシャツ(4,840円)は希望者の自由購入となります。

○ 制服のイメージは、米沢鶴城高等学校ホームページに掲載されています。

詳しくはこちらのQRコードから→



(2) 体育用品等 26,710円

(3) PTA会費 8,100円

(4) 学年共通学用品等 42,610円(工業) 41,110円(商業)

(5) 類別学用品・実習着等

M類:45,865円 E類:46,584円 C類:48,956円 B類:27,363円

(6) 教科書・準教科書・副読本

M類:32,353円 E類:26,253円 C類:20,563円 B類:16,275円

○ 芸術(音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ)については、選択科目決定後に別に購入していただきます。

○ C類はコース別学習が始まる1学年2学期に、コース毎別に教科書を購入していただきます。

M類:機械類 E類:電気情報類 C類:建設環境類 B類:商業類 の略称です。

2 入学後の所要経費(5月から11月までの7ヵ月分納、月額平均約12,320円)

(1) 修学旅行積立金(1年次) 60,000円

(2) 諸会費等 21,650円

3 授業料(年額118,800円)

就学支援金制度の対象となる生徒は、原則、授業料の納付が不要です。

令和8年度入学生
山形県立米沢鶴城高等学校(全日制の課程) 教育課程表

機械類（機械加工科・機械制御科）

機械加工コース・機械制御コース												
教科	科目	標準 単位数		学年別単位数								備考
				1 年		2 年		3 年		合計		
				加工	制御	加工	制御	加工	制御	加工	制御	
(必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)												
国語	現 代 の 国 語	2	◎	2						2		選択科目Ⅰ-B(2学年) ※印の4科目から1科目選択 選択科目Ⅱ(3学年) △印の4科目から1科目選択 総合選択科目Ⅰ(3学年) ☆印の5科目から1科目選択 総合選択科目Ⅱ(3学年) ★印の3科目から1科目選択 但し、発展物理は物理基礎を、発展化学は化学基礎を、発展生物は生物基礎を履修した場合に履修できる
	言 語 文 化	2	◎			2				2		
	論 理 国 語	4						3		3		
	国 語 表 現	4						△2		0.2		
地理 歴史	地 理 総 合	2	◎	2						2		
	歴 史 総 合	2	◎					2		2		
公民	公 共	2	◎			2				2		
数学	数 学 Ⅰ	3	◎	3						3		
	数 学 Ⅱ	4				2		2		4		
	数 学 A	2				2				2		
	数 学 B	2						△2		0.2		
理科	科 学 と 人 間 生 活	2	◎	2						2		
	物 理 基 礎	2	◎			2				2		
	化 学 基 礎	2				※2				0.2		
	生 物 基 礎	2				※2				0.2		
	発 展 物 理		●					☆2		0.2		
	発 展 化 学		●					☆2		0.2		
	発 展 生 物		●					☆2		0.2		
保健 体育	体 育	7～8	◎	2		2		3		7		
	保 健	2	◎	1		1				2		
芸術	音 楽 Ⅰ	2	○	2						0.2		
	美 術 Ⅰ	2	○	2						0.2		
	書 道 Ⅰ	2	○	2						0.2		
外国語	英 語 コミュニケーションⅠ	3	◎	3						3		
	英 語 コミュニケーションⅡ	4				3		3		6		
	論 理 ・ 表 現 Ⅰ	2						★2		0.2		
	国 際 理 解		●					△2		0.2		
家庭	家 庭 基 礎	2	◎	2						2		
	生 活 総 合		●			※2				0.2		
情報	情 報 Ⅰ	2	◎	(2)						(2)		
共通教科・科目単位数合計				19		16～18		13～19		48～56		
工業	工 業 技 術 基 礎	2～4		3						3 3		
	課 題 研 究	2～4	◎					3 3		3 3		
	実 習	4～12				4 4		4 4		8 8		
	製 図	2～8		2		2 2		△2 △2		4.6 4.6		
	工 業 情 報 数 理	2～4	◎	2						2 2		
	工 業 管 理 技 術	2～8						★2 ★2		0.2 0.2		
	機 械 工 作	4～8				2		☆2		2.4 2		
	機 械 設 計	4～8		2		2		☆2		4 4.6		
	原 動 機	2～4						3		3		
	電 子 機 械	4～8								3		
商業	生 産 技 術	2～6				※2				0.2 0.2		
	情 報 処 理	2～6						☆2 ☆2		0.2 0.2		
	ビ`ネス・コミュニケーション	2～4						★2 ★2		0.2 0.2		
専門教科・科目単位数合計				9		10～12 10～12		10～16 10～16		29～37 29～37		
総合的な探究の時間 キャリア探究(1・2学年)		3～6	◎	1		1		(3)		2(3)		課題研究で3単位代替
合計				29		29		29		87		
卒業までに修得すべき単位数				74								
特別活動	ホームルーム活動			1		1		1		3		毎週木曜日6校時
	生徒会活動(時間)			35		35		35		105		
				生徒会対面式、応援練習、生徒総会(前期・後期)、生徒会立会演説会・選挙、生徒会全校集会、文化祭等								
	学校行事(時間)			65		90		55		210		
授業の1単位時間				50分								

令和 8 年度入学生
山形県立米沢鶴城高等学校(全日制の課程) 教育課程表

電気情報類（電気情報科）

電気コース・情報技術コース												
教科 (必履修科目◎、選択必履修科目○、学校設定科目●)	科目	標準 単位数		学年別単位数								備考
				1 年		2 年		3 年		合計		
				電気	情報	電気	情報	電気	情報	電気	情報	
国語	現 代 の 国 語	2	◎	2						2		選択科目Ⅰ-B(2学年) ※印の4科目から1科目選択 選択科目Ⅱ(3学年) △印の4科目から1科目選択 総合選択科目Ⅰ(3学年) ★印の5科目から1科目選択 総合選択科目Ⅱ(3学年) ★印の3科目から1科目選択 但し、発展物理は物理基礎を、発展化学は化学基礎を、発展生物は生物基礎を履修した場合に履修できる
	言 語 文 化	2	◎			2				2		
	論 理 国 語	4						3		3		
	国 語 表 現	4						△2		0.2		
地理 歴史	地 理 総 合	2	◎	2						2		
	歴 史 総 合	2	◎					2		2		
公民	公 共	2	◎			2				2		
数学	数 学 Ⅰ	3	◎	3						3		
	数 学 Ⅱ	4				2		2		4		
	数 学 A	2				2				2		
	数 学 B	2						△2		0.2		
理科	科 学 と 人 間 生 活	2	◎	2						2		
	物 理 基 礎	2	◎			2				2		
	化 学 基 礎	2				※2				0.2		
	生 物 基 礎	2				※2				0.2		
	発 展 物 理		●					☆2		0.2		
	発 展 化 学		●					☆2		0.2		
保健 体育	体 育	7～8	◎	2		2		3		7		
	保 健	2	◎	1		1				2		
芸術	音 楽 Ⅰ	2	○	2						0.2		音楽Ⅰ、美術Ⅰ、書道Ⅰのいずれか1科目 を選択して履修する
	美 術 Ⅰ	2	○	2						0.2		
	書 道 Ⅰ	2	○	2						0.2		
外国語	英 語 コミュニケーションⅠ	3	◎	3						3		
	英 語 コミュニケーションⅡ	4				3		3		6		
	論 理 ・ 表 現 Ⅰ	2						★2		0.2		
	国 際 理 解		●					△2		0.2		
家庭	家 庭 基 礎	2	◎	2						2		
	生 活 総 合		●			※2				0.2		
情報	情 報 Ⅰ	2	◎	(2)						(2)		工業情報数理で2単位代替
共通教科・科目単位数合計				19		16～18		13～19		48～56		
工業	工 業 技 術 基 礎	2～4		3						3 3		製図(1学年) 後期集中履修 製図(2学年) 前期集中履修
	課 題 研 究	2～4	◎					3 3		3 3		
	実 習	4～12				4 4		3 3		7 7		
	製 図	2～8		1		1 1				2 2		
	工 業 情 報 数 理	2～4	◎	2						2 2		
	工 業 管 理 技 術	2～8						★2 ★2		0.2 0.2		
	電 気 回 路	4～6		3		3 3				6 6		
	電 気 機 器	4～6						2		2		
	電 力 技 術	4～6				2		2		4		
	電 子 回 路	4～6				※2 ※2				0.2 0.2		
	電 子 計 測 制 御	4～6						☆2 ☆2		0.2 0.2		
	プログラミング技術	2～8				2		2		4		
商業	ハードウェア技術	2～8						△2 △2		0.2 0.2		
	コンピュータシステム技術	2～8						2		2		
	情 報 処 理	2～6						☆2 ☆2		0.2 0.2		
	ビ`ネス・コミュニケーション	2～4						★2 ★2		0.2 0.2		
専門教科・科目単位数合計				9		10～12 10～12		10～16 10～16		29～37 29～37		
総合的な探究の時間 キャリア探究(1・2学年)		3～6	◎	1		1		(3)		2(3)		課題研究で3単位代替
合計				29		29		29		87		
卒業までに修得すべき単位数				74								
特別活動	ホームルーム活動			1		1		1		3		毎週木曜日 6 校時
	生徒会活動(時間)			35		35		35		105		
				生徒会対面式、応援練習、生徒総会(前期・後期)、生徒会立会演説会・選挙、生徒会全校集会、文化祭等								
	学校行事(時間)			65		90		55		210		
新入式、入学式、始業式(1・2・3学期)、終業式(1・2学期)、修了式、創立記念式、修学旅行等												
授業の1単位時間				50分								

令和8年度入学生

山形県立米沢鶴城高等学校(全日制の課程) 教育課程表

建設環境類(建築科・環境工学科)

建築コース・土木コース・環境化学コース

教科	科目	標準 単位数	学年別単位数												備考	
			1年			2年			3年			合計				
			建築	土木	環境	建築	土木	環境	建築	土木	環境	建築	土木	環境		
(必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)																
国語	現代の国語	2	◎	2						2			選択科目Ⅰ～Ⅱ(2学年) ※印の4科目から1科目選択 選択科目Ⅱ(3学年) △印の4科目から1科目選択 総合選択科目Ⅰ(3学年) ☆印の5科目から1科目選択 総合選択科目Ⅱ(3学年) ★印の3科目から1科目選択 但し、発展物理は物理基礎を、発展化学は化学基礎を、発展生物は生物基礎を履修した場合に履修できる			
	言語文化	2	◎				2			2						
	論理国語	4								3						
	国語表現	4								△2						
地理 歴史	地理総合	2	◎	2						2						
	歴史総合	2	◎							2						
公民	公共	2	◎				2			2						
数学	数学Ⅰ	3	◎	3						3						
	数学Ⅱ	4					2			2						
	数学A	2					2			2						
	数学B	2								△2						
理科	科学と人間生活	2	◎	2						2						
	物理基礎	2	◎				2			2						
	化学基礎	2					※2			0.2						
	生物基礎	2					※2			0.2						
	発展物理		●							☆2						
	発展化学		●							☆2						
	発展生物		●							☆2						
	保健体育	7～8	◎	2			2			3						
芸術	音楽Ⅰ	2	○	2						0.2						
	美術Ⅰ	2	○	2						0.2						
	書道Ⅰ	2	○	2						0.2						
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3						3						
	英語コミュニケーションⅡ	4					3			6						
	論理・表現Ⅰ	2								★2						
	国際理解		●							△2						
家庭	家庭基礎	2	◎	2						2						
	生活総合		●				※2			0.2						
情報	情報Ⅰ	2	◎	(2)						(2)						
共通教科・科目単位数合計			19			16～18			13～19			48～56			工業情報数理で2単位代替	
工業	工業技術基礎	2～4		3	3	3						3	3	3	環境化学コース 製図 前期集中履修 工業情報数理 前期集中履修	
	課題研究	2～4	◎							3	3	3	3	3		
	実習	4～12					4	4	4	2	2	2	6	6		6
	製図	2～8		2	2	1	2			2	△2		6	2.4		1
	工業情報数理	2～4	◎	2	2	2							2	2	2	
	工業環境技術	2～4										△2			0.2	
	建築構造	2～6		2			2						4		建築構造(1学年)後期集中履修	
	建築計画	3～8					※2			△2			0.2, 4			
	建築構造設計	3～8					2			1・☆2			3.5			
	建築施工	2～6								2			2			
	建築法規	2～4								★2			0.2		測量(1学年)後期集中履修 土木構造設計(1学年)後期集中履修	
	測量	3～6			1		2						3			
	土木基盤力学	2～6								☆2			0.2			
	土木構造設計	2～8			1		2			2			5			
	土木施工	3～6					2			3			5		工業化学(1学年)後期集中履修 地球環境化学の1学年は後期集中履修 地球環境化学の3学年の選択は2学年で履修した場合に履修できる	
	社会基盤工学	2～4					※2			★2			0.2, 4			
	工業化学	6～8			2		4			2			8			
	化学工学	3～6						2		3			5			
地球環境化学	2～6			1		※2			☆2			1, 3, 5				
環境化学計測		●								★2			0.2			
商業	情報処理	2～6							☆2	☆2	☆2	0.2	0.2	0.2	新任式、入学式、始業式(1・2・3学期)、終業式(1・2学期)、修了式、創立記念式、修学旅行等	
	ビジネス・コミュニケーション	2～4							★2	★2	★2	0.2	0.2	0.2		
専門教科・科目単位数合計			9			10～12	10～12	10～12	10～16	10～16	10～16	29～37	29～37	29～37		
総合的な探究の時間 キャリア探究(1・2学年)		3～6	◎	1			1			(3)			2(3)		課題研究で3単位代替	
合計			29			29			29			87				
卒業までに修得すべき単位数			74													
特別活動	ホームルーム活動		1			1			1			3			毎週木曜日6校時	
	生徒会活動(時間)		35			35			35			105				
			生徒会対面式、応援練習、生徒総会(前期・後期)、生徒会立会演説会・選挙、生徒会全校集会、文化祭等													
	学校行事(時間)		65			90			55			210				
新任式、入学式、始業式(1・2・3学期)、終業式(1・2学期)、修了式、創立記念式、修学旅行等																
授業の1単位時間			50分													

商業類（総合ビジネス科・会計情報科）

総合ビジネスコース・会計コース・情報コース																					
教科	科目	標準 単位数		学年別単位数									備考								
				1 年			2 年			3 年				合計							
(必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)				総合ビ	会計	情報	総合ビ	会計	情報	総合ビ	会計	情報	総合ビ	会計	情報						
国語	現代の国語	2	◎	2									2			選択科目Ⅰ～A（2学年） ※の2科目のうち1科目を選択する 選択科目Ⅰ～C（2学年） □の2科目のうち1科目を選択する 選択科目Ⅱ（3学年） △印の6科目から1科目選択 総合選択科目Ⅰ（3学年） ☆印の5科目から1科目選択 総合選択科目Ⅱ（3学年） ★印の5科目から1科目選択 但し、発展化学は化学基礎を、発展生物は生物基礎を履修した場合に履修できる					
	言語文化	2	◎				2						2								
	論理国語	4								3			3								
	国語表現	4								△2			0.2								
地理 歴史	地理総合	2	◎	2									2								
	歴史総合	2	◎							2			2								
公民	公民共	2	◎				2						2								
数学	数学Ⅰ	3	◎	3									3								
	数学Ⅱ	4					2			2			4								
	数学A	2								★2			0.2								
	数学B	2								△2			0.2								
理科	科学と人間生活	2	◎	2									2								
	化学基礎	2	○				※2						0.2								
	生物基礎	2	○				※2						0.2								
	発展化学		●							☆2			0.2								
	発展生物		●							☆2			0.2								
保健 体育	体育	7～8	◎	2			2			3			7								
	保健	2	◎	1			1						2								
芸術	音楽Ⅰ	2	○	2									0.2								
	美術Ⅰ	2	○	2									0.2								
	書道Ⅰ	2	○	2									0.2								
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3									3								
	英語コミュニケーションⅡ	4					3			3			6								
	論理・表現Ⅰ	2								★2			0.2								
	国際理解		●							△2			0.2								
家庭	家庭総合	4	◎				2			2			4								
情報	情報Ⅰ	2	◎	(3)									(3)								
共通教科・科目単位数合計				17			16			15～21			48～54								
商業	ビジネス基礎	2～4		3									3 3 3								
	課題研究	2～4	◎							3 3 3			3 3 3								
	総合実践	2～4								3 3 3			3 3 3								
	ビジネス・コミュニケーション	2～4					□2	□2	□2				0.2 0.2 0.2								
	マーケティング	2～4					2				★2	★2	2	0.2 0.2 0.2							
	商品開発と流通	2～4								△2	△2	△2	0.2 0.2 0.2								
	観光ビジネス	2～4								☆2	☆2	☆2	0.2 0.2 0.2								
	ビジネス・マネジメント	2～4								☆2	☆2	☆2	0.2 0.2 0.2								
	グローバル経済	2～4								★2	★2	★2	0.2 0.2 0.2								
	ビジネス法規	2～4								2				2							
	簿記	2～6		5									5 5 5								
	財務会計Ⅰ	2～4					3	3	3				3 3 3								
	財務会計Ⅱ	2～4								2			2								
	原価計算	2～4					2	2	2				2 2 2								
	管理会計	2～4								△2	△2	△2	0.2 0.2 0.2								
	情報処理	2～6	◎	3									3 3 3								
	ソフトウェア活用	2～4					3	3	3				3 3 3								
	プログラミング	2～4					2						4								
	ネットワーク活用	2～4								△2	△2	△2	0.2 0.2 0.2								
工業	会計実践		●				2						2								
	ビジネス技術		●				□2	□2	□2				0.2 0.2 0.2								
	IT活用		●							☆2	☆2	☆2	0.2 0.2 0.2								
ものづくり活用										★2			★2			★2			0.2 0.2 0.2		
専門教科・科目単位数合計				11			12	12	12	8～14	8～14	8～14	31～37	31～37	31～37						
総合的な探究の時間 キャリア探究(1・2学年)		3～6	◎	1			1			(3)			2(3)			課題研究で3単位代替					
合計				29			29			29			87								
卒業までに修得すべき単位数				74																	
特別活動	ホームルーム活動			1			1			1			3			毎週木曜日6校時					
	生徒会活動(時間)			35			35			35			105								
	学校行事(時間)			65			90			55			210								
	授業の1単位時間			50分																	

定時制の課程

入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

定時制

- 学校生活を大切にし、何事にも前向きに取り組む生徒を募集します。
- 基礎・基本を大切にし、他者との関わり合いを通して、学びの質を高めようと努力できる生徒を募集します。
- 将来の目標に向かって挑戦し、持続可能な地域や社会の創り手となることを目指す生徒を募集します。

I 前期（特色）選抜

1 志願資格及び出願要件

（1）志願資格

次の各号に該当するものとする。

- ① 令和8年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校（以下「中学校」という。）を卒業する見込みの者のうち、次に定める出願要件を満たしている者。
- ② 合格した場合は、入学が確約できる者。

（2）出願要件

本学科のアドミッション・ポリシーを理解し、次のア、イの両方に該当する者

- ア 本学科が実施する学校開放日に参加した者
- イ 本学科を志望する動機及び目的意識が明確である者

2 募集学科及び募集人員

総合学科 8名程度

3 出願手続及び受付期間

（1）出願手続

- ① 志願は1人1学科とする。なお、志願資格及び出願要件に合致していない場合は出願できない。
- ② 中高一貫教育における連携型入学者選抜との併願はできない。
- ③ 山形県公立学校Web出願システムにより出願情報の登録を行い、「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、950円を納付する。（納入方法はクレジット、又はコンビニ/ATMにて選択して納付する。）
- ④ 中学校長は、山形県公立学校Web出願システムにより、調査書情報を登録するとともに、評定概況を添付ファイルとして提出する。ただし、評定概況については、県外からの志願者及び特別支援学校からの志願者については登録を要しない。
- ⑤ 個別に必要な書類
自己申告書（別記様式第4号……用紙は高等学校で用意する。）
進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合には、志願者等が作成した自己申告書を本校校長あて親展で提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、志願受付期間内に必着とする。
- ⑥ 県外から志願する者は、当該都道府県の公立高等学校を志願しない旨の在籍中学校長の証明書を添え、令和7年12月10日（木）を目途に学区外高等学校志願許可願1部を本県教育委員会教育長に提出し、許可を得るものとする。

- ⑦ 中学校長は、必要がある場合、令和7年12月26日（金）17時までに本校校長に、健康及び身体状況について相談を行うことが望ましい。なお、聴覚障がいにより補聴器を必要とする場合も相談することが望ましい。

(2) 志願受付期間

令和8年1月5日（月）から1月8日（木）12時までに手続きするものとする。

志願者は各自で受検票を印刷し持参すること。受検票は1月14日（水）以降に印刷できるようになる。

4 山形県公立学校Web出願システム入力上の注意

- (1) 必ず出願要件にチェックを入れること。
(2) 現住所・氏名は、正確に入力すること。

5 検 査

- (1) 日 時 令和8年1月20日（火）

生徒昇降口開場 8時20分

受 付 8時30分から8時50分まで

- (2) 検査会場 米沢鶴城高等学校指定教室

- (3) 検査内容 ① 作文 9時00分から9時30分まで

ア 題 目 志望の理由及び目的意識を確認する内容の作文題とする。

イ 字 数 300字程度

- ② 個人面接 9時55分から

ア 時 間 1人10分程度

イ 面接者 2～3名

- (4) 受検者の携帯品

受検者は、受検票、内履き、検査に必要な下記の筆記用具を持参すること。

鉛筆（シャープペンシルを含む）※1、消しゴム、鉛筆削り

検査会場には、受検票のほか上記の筆記用具を携帯する。なお、鉛筆キャップ（単色透明で無地のもの）、腕時計※2、ティッシュペーパー（中身のみ）の持込みは認める。また、連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。

※1 芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。

※2 スマートウォッチや計算機能、英単語表示機能、通信機能等付きのもの、音の鳴るもの、秒針音のするものは持込みを認めない。

ただし、次の用具は検査会場に携帯してはならない。

- ① 下敷、筆入れ、シャープペンシル芯入れケース等
- ② 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・情報端末等の電子機器類
- ③ その他、検査の公正を欠くおそれのある物

なお、聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

6 選 抜

選抜は、調査書情報、検査の結果を総合して行う。その割合は、調査書情報（学習の記録）【20%】、調査書情報（「学習の記録」以外）【20%】、作文【30%】、個人面接【30%】とする。

なお、自己申告書等に関する書類を、個人面接で志望動機等を確認する際の資料とする。

また、個人面接と作文の評価の観点及び評価の段階は次の通りとする。

個人面接の評価の観点 ① 目的意識：志望の動機・目的意識が明確である。

② 意欲：入学後の学習や生活についての考えが明確である。

③ 中学校時代の取り組み：中学校時代の経験に基づき、自分の考えを説明できる。

- ④ 所作・態度：適切な態度で、礼儀正しく対応ができています。
- ⑤ 表現力：質問の意図を理解し、わかりやすく話をする事ができています。

個人面接の評価の段階 A、B、Cの3段階

作文の評価の観点 ① 内容：与えられた主題を的確に読み取り、論理的に思考している。

② 構成：文章量及び文章の構成が的確に組み立てられている。

③ 書写・表記：誤字・脱字がなく、言葉を正しく使っている。

作文の評価の段階 A、B、C、Dの4段階

7 選抜結果の通知及び合格発表

- (1) 令和8年1月29日（木）16時に山形県公立学校Web出願システムにより前期（特色）選抜結果を通知するものとする。ただし、合格者の発表は、令和8年3月17日（火）16時に山形県公立学校Web出願システムにより行う。なお、電話による可否の問い合わせには応じない。
- (2) 合格者には、山形県公立学校Web出願システムに入力された本人の現住所等に入学に必要な関係書類を送付する。

8 そ の 他

合格者に対しては、新入生オリエンテーションを実施する。入学予定者は必ず出席すること。
なお、期日等については19頁のIVを参照のこと。

Ⅱ 後期（一般）選抜

1 志 願 資 格

次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 令和8年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で令和8年度前期（特色）選抜及び中高一貫教育における連携型入学者選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者。

2 募集学科及び募集人員

総合学科 40名（前期（特色）選抜の合格者および成人志願者の合格者を含む）

3 出願手続及び受付期間

(1) 出願手続

- ① 公立高等学校への志願は1人1校とし、全日制・定時制の両課程に志願することはできない。
- ② 志願者は、山形県公立学校Web出願システムにより出願情報の登録を行い、「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、950円を納付する。（納付方法はクレジット、又はコンビニ/ATMにて選択して納付する。）
- ③ 前期（特色）選抜に漏れた者で、定時制の後期（一般）選抜を志願する者は、新たに山形県公立学校Web出願システムにより志願者情報の登録を行う。
入学者選抜手数料の950円については、県立高等学校の前期（特色）選抜に漏れた者は納付を要しない。ただし、全日制の課程から定時制の課程への志願変更にあつては、入学者選抜手数料の差額分1,250円は返納しない。また、市立高等学校の前期（特色）選抜に漏れた者は改めて950円を納付する。

- ④ 県外から志願する者は、当該都道府県の公立高等学校に志願しない旨の在籍中学校長の証明書を添え、令和8年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願1部を本県教育委員会教育長に提出すること。
- ⑤ 次の場合、中学校長及び特別支援学校長は、令和8年1月30日（金）17時までに本校校長に相談を行うことが望ましい。ただし、帰国子女や外国人子女等、事情がある場合は、本人及び保護者が行うことも可能とする。
- ア 入学者選抜にあたって特別な配慮等、必要がある場合（健康及び身体状況、希望学科、進路希望等）
- イ 聴覚障がいにより学力検査時に補聴器を必要とする場合
- ⑥ 中学校長は、山形県公立学校Web出願システム上により、調査書情報を登録するとともに、評定概況を添付ファイルで提出する。ただし、評定概況については、県外からの志願者、特別支援学校からの志願者及び令和6年度以前の卒業生からの志願者については登録を要しない。
- ⑦ 個別に必要な書類
- ア 自己申告書（別記様式第4号……用紙は高等学校で用意する。）
- 進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合には、志願者等が作成した自己申告書を本校校長あて親展で提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、志願受付期間内に必着とする。
- イ 在籍高等学校長の志願承諾書（在籍高等学校の任意様式）
- 高等学校に在籍のまま志願する場合は、出願の際に山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。
- ⑧ 志願者に聴覚障がい者がいる場合、中学校長は、「聴力レベル（dB）」及び学力検査において配慮を必要とする事項を記した公文書を作成し、出願の際に山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。
- ⑨ 志願の取消しや締切り前の志願変更の対象者が確認された場合は、出身中学校長が本校校長へ電話連絡する。その後、山形県公立学校Web出願システムにおいて必ず公文書を添付ファイルとして提出するとともに、取消しや志願先の変更を行うこと。締切り前の志願変更は、やむを得ない十分な理由がある場合にのみ行うこと。
- ⑩ 国立諸学校に合格した志願者の在籍又は出身中学校長は、令和8年3月4日（水）12時までに、国立諸学校への入学の諾否等を本校校長に対して、山形県公立学校Web出願システムにより報告するものとする。その後判明した場合も、入学の諾否を在籍又は出身中学校長が、本校校長に対して、できるだけ速やかに電話連絡すること。
- (2) 志願受付期間
- 令和8年2月18日（水）から2月24日（火）12時までに手続きするものとする。
- 志願者は各自で受検票を印刷し持参すること。受検票は2月27日（金）以降に印刷できるようなる。

4 山形県公立学校Web出願システム入力上の注意

現住所・氏名は、正確に入力すること。

5 学 力 検 査

- (1) 日 時 令和8年3月7日（土）
- 生徒昇降口開場 7時40分
- 控室入室完了 8時10分
- 受 付 8時10分～8時20分
- (2) 検査会場 米沢鶴城高等学校指定教室
- (3) 検査教科及び検査時間

時 間	8:50～9:40	10:00～10:50	11:10～12:00	12:50～13:40	14:00～14:50
教 科	国 語	数 学	社 会	理 科	外国語（英語） （14:00 から約 10 分間は リスニングテスト）

※検査教科の配点は各 100 点とする。

(4) 受検者の携帯品

受検者は、受検票、内履き、昼食及び学力検査に必要な下記の筆記用具を持参すること。

鉛筆（シャープペンシルを含む）※₁、消しゴム、定規（三角・直定規のいずれでもよい）、コンパス、鉛筆削り

学力検査会場には、受検票のほか上記の筆記用具を携帯する。なお、鉛筆キャップ（単色透明で無地のもの）、腕時計※₂、ティッシュペーパー（中身のみ）の持込みは認める。

連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。

※₁ 芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。

※₂ スマートウォッチや計算機能、英単語表示機能、通信機能等付きのもの、音の鳴るもの、秒針音のするものは持込みを認めない。

ただし、次の用具は学力検査会場に携帯してはならない。

- ① 下敷、筆入れ、シャープペンシル芯入れケース等
- ② 公式や法則等の書いてある定規・鉛筆等（シャープペンシルを含む）
- ③ 分度器又は分度器のついた定規
- ④ 電卓等の計算用具
- ⑤ 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・情報端末等の電子機器類
- ⑥ その他、検査の公正を欠くおそれのある物

なお、聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

6 選 抜

- (1) 選抜は、調査書情報及び学力検査の成績を総合し、総合学科の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。
- (2) 調査書情報中の各教科の評定と学力検査の成績の比率は4：6とする。
- (3) 傾斜配点は、行わない。
- (4) 在籍又は出身中学校長から、国立諸学校に合格し入学する旨報告のあった志願者については選抜から除外する。

7 合 格 発 表

- (1) 合格者の発表は、令和8年3月17日（火）16時に山形県公立学校Web出願システムにより行う。なお、電話による可否の問い合わせには応じない。
- (2) 合格者には、山形県公立学校Web出願システムに入力された本人の現住所等に入学に必要な関係書類を送付する。

8 個人情報の提供

受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、山形県公立学校Web出願システムにより行う。

9 追 検 査

(1) 対象者

志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日実施の学力検査（以降、本検査という）の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。

- ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
- ② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

(2) 受検の手続

追検査の受検を希望する者は、次のア～イの連絡等を行う。

ア 本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。

イ 上記(1)①の場合、医師の診断書を、上記(1)②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日まで在籍又は出身中学校長に提出する。

(3) 追検査の内容及び日時等

① 学力検査等について

内容は上記「5 学力検査」に準ずる。

② 日 時

令和8年3月12日(木) 学力検査(時間は本検査に同じ)

③ 検査会場

米沢鶴城高等学校指定教室

(「5 学力検査」と同様に指定された入口から入校し、職員の誘導により会場まで移動する。)

(4) 追検査の選抜における取扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

10 その他

(1) 受検会場の下見は実施しない。

(2) 合格者に対しては、新入生オリエンテーションを実施する。入学予定者は必ず出席するものとする。なお、期日等については19頁のIVを参照のこと。

Ⅲ 成人志願者の選抜

1 志 願 資 格

中学校を卒業した者、又は学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第95条の各号のいずれかに該当する者で、令和8年4月1日現在で18歳以上の者とする。

2 募集学科及び募集人員

総合学科 40名(前期(特色)選抜及び後期(一般)選抜による合格者を含む。)

3 出願手続及び受付期間

(1) 出願手続

① 山形県公立学校Web出願システムにより出願情報の登録を行い、「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、950円を納付する。(納入方法はクレジット、又はコンビニ/ATMにて選択して納付する)

② 出願の際に、出身中学校の卒業証明書を添付すること。

(2) 志願受付期間

令和8年2月18日(水)から2月24日(火)12時までに手続きするものとする。

志願者は各自で受検票を印刷し持参すること。受検票は2月27日(金)以降に印刷できるようになる。

4 山形県公立学校Web出願システム入力上の注意

現住所・氏名は、省略せずに正確に記載すること。

5 作 文

(1) 目的 本校定時制の課程の教育を受けるに足る資質と能力を確認し、選抜の資料とすることを目的とする。

- (2) 日 時 令和8年3月7日(土)
生徒昇降口開場 7時40分
控室入室完了 8時10分
受 付 8時10分から8時20分まで
作 文 8時50分から9時40分まで
- (3) 検査会場 米沢鶴城高等学校指定教室
- (4) 出題方法 ① 題 目 志望の理由及び目的意識を確認する内容の作文題とする。
② 字 数 600字～800字

(5) 受検者の携帯品

受検者は、受検票、内履き、検査に必要な下記の筆記用具を持参すること。

鉛筆(シャープペンシルを含む)※1、消しゴム、鉛筆削り

検査会場には、受検票のほか上記の筆記用具を携帯する。なお、鉛筆キャップ(単色透明で無地のもの)、腕時計※2、ティッシュペーパー(中身のみ)の持込みは認める。また、連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。

※1 芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。

※2 スマートウォッチや計算機能、英単語表示機能、通信機能等付きのもの、音の鳴るもの、秒針音のするものは持込みを認めない。

ただし、次の用具は検査会場に携帯してはならない。

- ① 下敷、筆入れ、シャープペンシル芯入れケース等
- ② 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・情報端末等の電子機器類
- ③ その他、検査の公正を欠くおそれのある物

なお、聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

6 面 接

- (1) 目 的 受検者の多様な能力・適性や関心・意欲、努力の成果や活動経験などを、様々な観点から優れた面や長所を確認し、選抜の資料とすることを目的とする。
- (2) 日 時 令和8年3月7日(土) 作文終了後に実施する。
- (3) 検査会場 米沢鶴城高等学校指定教室
- (4) 方 法 ① 形 態 個人面接
② 時 間 1人15分程度
③ 面接者 2～3名
- (5) 質問事項 主として次の事項について質問する。
① 本校定時制総合学科への志望の動機・理由について
② 入学後の抱負について
③ 中学校時代の学習状況や特別活動の状況について
④ 中学校卒業後から現在までの生活について
⑤ 性格や生活について(長所、趣味、余暇の利用等)
⑥ 将来卒業後の進路、抱負について

7 選 抜

選抜は、作文及び面接検査の結果を総合して行う。

8 合 格 発 表

後期(一般)選抜と同様に行う。

9 そ の 他

- (1) 受検会場の下見は実施しない。
- (2) 合格者に対しては、新入生オリエンテーションを実施する。入学予定者は必ず出席するものとする。なお、期日等については19頁のⅣを参照のこと。

IV 新入生オリエンテーション

〔前期（特色）選抜、後期（一般）選抜、成人とも〕

- (1) 日 時 令和8年3月25日（水） 13時30分から16時（予定）
(2) 場 所 米沢鶴城高等学校 2階 大会議室等
(3) そ の 他 合格発表後に郵送する関係書類により、日時や持ち物等詳細を連絡する。

資料 入学時及び入学後の所要経費〔定時制〕

以下の金額は令和7年度入学生（総合学科）の実績です。

1 入学時の所要経費

(1) 運動着・内履き代等	19,261円
(2) 教材費・研修費等	29,039円
合 計	48,300円

2 入学後の所要経費（5月から11月まで7ヵ月分納、月額平均約20,000円）

(1) 給食費	70,000円
(2) 修学旅行積立金（1年次）	47,500円
(3) 諸会費等	27,780円
合 計	140,280円

※給食費は令和8年度から無くなります。

※修学旅行積立金は令和8年度から増額の予定です。

3 入学時の教科書など

- (1) 教科書代教材費含む（美術選択者） 9,639円
（音楽選択者） 7,833円

※教科書購入は日時、場所を後日お知らせします。

4 補助制度

次の経費は、入学後の就労状況により条件を満たせば、教科書等購入費の交付対象者として後日返金されます。

- (1) 教科書代

5 授業料（1単位1,620円）

※ 就学支援金制度等の対象となる生徒は、原則、授業料の納付が不要となります。

令和 8 年度入学生
山形県立米沢鶴城高等学校 定時制の課程 総合学科 教育課程表

		共通履修科目 必履修科目◎ 選択必履修科目○ 学校設定科目●			
		1年次	2年次	3年次	4年次
1		◎現代の国語	◎言語文化	文学国語	国語表現
2					
3		◎公共	◎地理総合	◎歴史総合	政治・経済
4					
5		◎数学Ⅰ	◎数学Ⅰ	◎体育	▲体育
6					
7		◎科学と人間生活	◎生物基礎	年次選択科目	工業情報数理
8					◎体育
9					
10					
11		◎保健	◎保健	総合選択科目A (異年次履修)	
12		○音楽Ⅰ ○美術Ⅰ	◎英語コミュニケーションⅠ		
13				総合選択科目B (異年次履修)	
14		◎英語コミュニケーションⅠ	◎家庭基礎		
15					
16		◎情報Ⅰ	工業技術基礎	◎総合的な探究の時間	●卒業研究
17					
18		●産業社会と人間	ビジネス基礎		
19					
20		●STEP UP TIMEⅠ	●STEP UP TIMEⅡ	●STEP UP TIMEⅢ	●STEP UP TIMEⅣ
21					
22		ホームルーム活動	自由選択科目D (年次履修)		ホームルーム活動
23					自由選択科目E (異年次履修)
24			自由選択科目F (異年次履修)		
25					
26					
27					
28			ホームルーム活動	ホームルーム活動	
各教科・科目及び総合的な探究の時間の単位数		21	21～27	21～27	21
卒業までに修得すべき単位数		74			
特別活動	ホームルーム活動	1	1	1	1
	(週当たり時数)	(毎週水曜日4校時)	(毎週水曜日4校時)	(毎週水曜日4校時)	(毎週水曜日4校時)
	生徒会活動	25	25	25	25
	(時間数)	生徒会対面式、生徒総会(前期・後期)、体育祭など			
	学校行事	55	55	55	55
	(時間数)	入学式、創立記念式、文化祭、芸術鑑賞、修学旅行、卒業式など			
授業1単位時間		45分			

		各系列における選択履修科目 (必履修科目◎、選択必履修科目○、学校設定科目●)	
		教養深化系列 / ものづくり・ビジネス系列	
年次選 択	3 年次	数 学 A (2 単位)	実 習
		●英語活用 (2 単位)	
	4 年次	●英語探究	実 習
総合選 択科 目	(3・4 年次異年次履修)	選択群 A	●伸展数学 ●中国語基礎 製図 ビジネス・コミュニケーション
		選択群 B	論理国語 ●身近な科学 工業環境技術 簿記
		選択群 C	化学基礎 ●生活と美術 工業管理技術 ビジネス法規
自由選 択科 目	(年次履修)	選択群 D	▲体育 (2 年次のみ履修可) フードデザイン (3 年次のみ履修可) デザイン実践 (3 年次のみ履修可)
	(2・3 年異年次履修)	選択群 E	政治・経済 数学 B (3 年次でのみ開講) 観光ビジネス
		選択群 F	物理基礎 論理・表現 I 工業情報数理
備 考		1 3 年次「数学 A」「英語活用」を選択した者は、4 年次「英語探究」を選択すること。 2 2～4 年次において、合計 6 単位 (各年次・各科目 3 単位まで) の実務代替が履修可能である。職場・職種によって「実務実習 I」「総合実践」として代替する。 3 総合選択科目は、3 年次、4 年次のどちらかの年次でのみ履修が可能である。 4 自由選択科目は、時間外 (5・6 時間目) に設置する。各科目は 2 年次、3 年次のどちらかの年次でのみ履修が可能である。 5 ▲の体育はどちらかを必履修とする。 6 自由選択科目群の「政治・経済」および「工業情報数理」は、三修希望者のみ選択可能である。	
		【学校設定科目の開設年度】 「伸展数学」 令和 7 年度 「身近な科学」 令和 7 年度 「生活と美術」 令和 7 年度 「英語活用」 令和 7 年度 「英語探究」 令和 7 年度 「中国語基礎」 令和 7 年度 「産業社会と人間」 令和 7 年度 「卒業研究」 令和 7 年度 「STEP UP TIME I～IV」 令和 7 年度 「実務実習 I」 令和 7 年度	